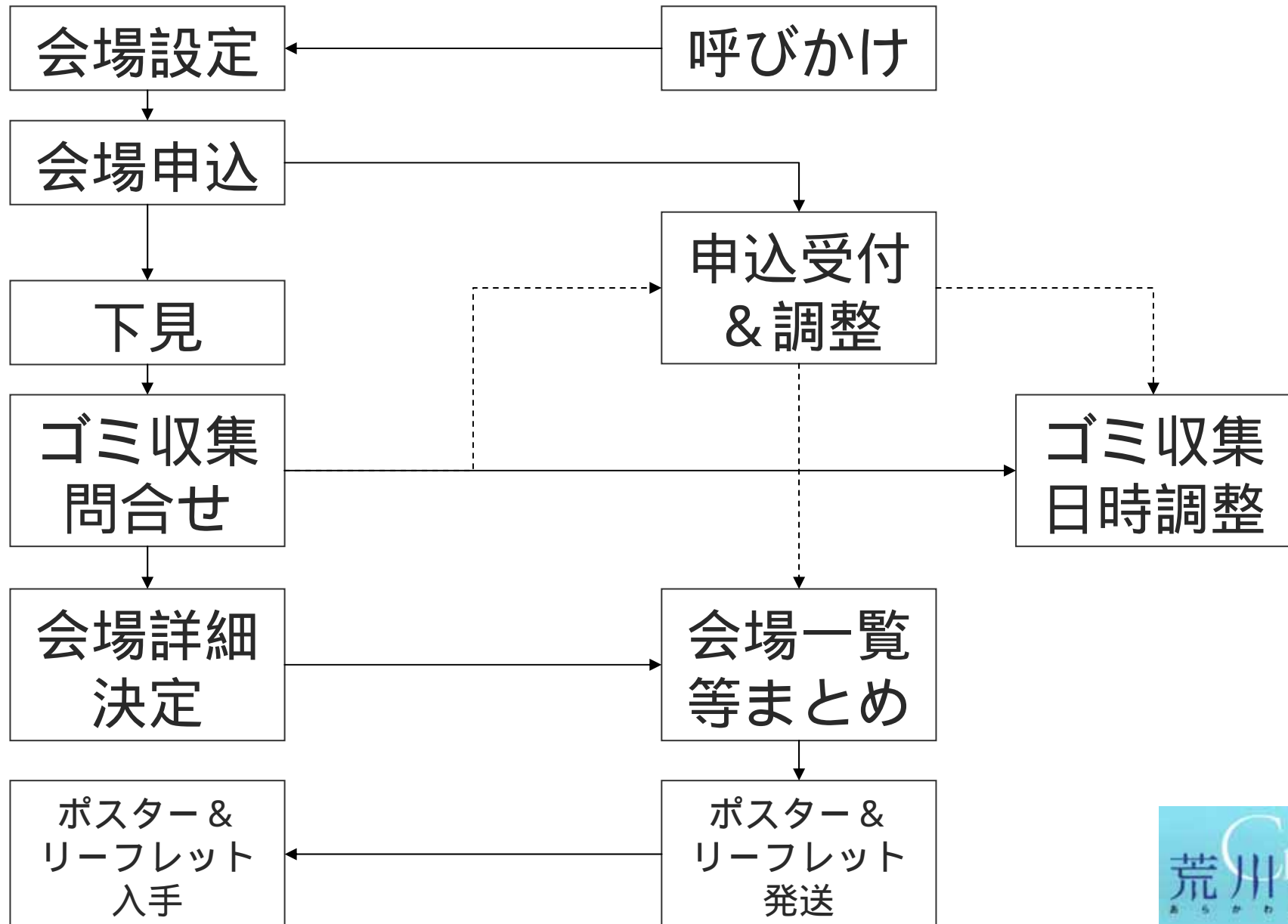


荒川クリーンエイド2006

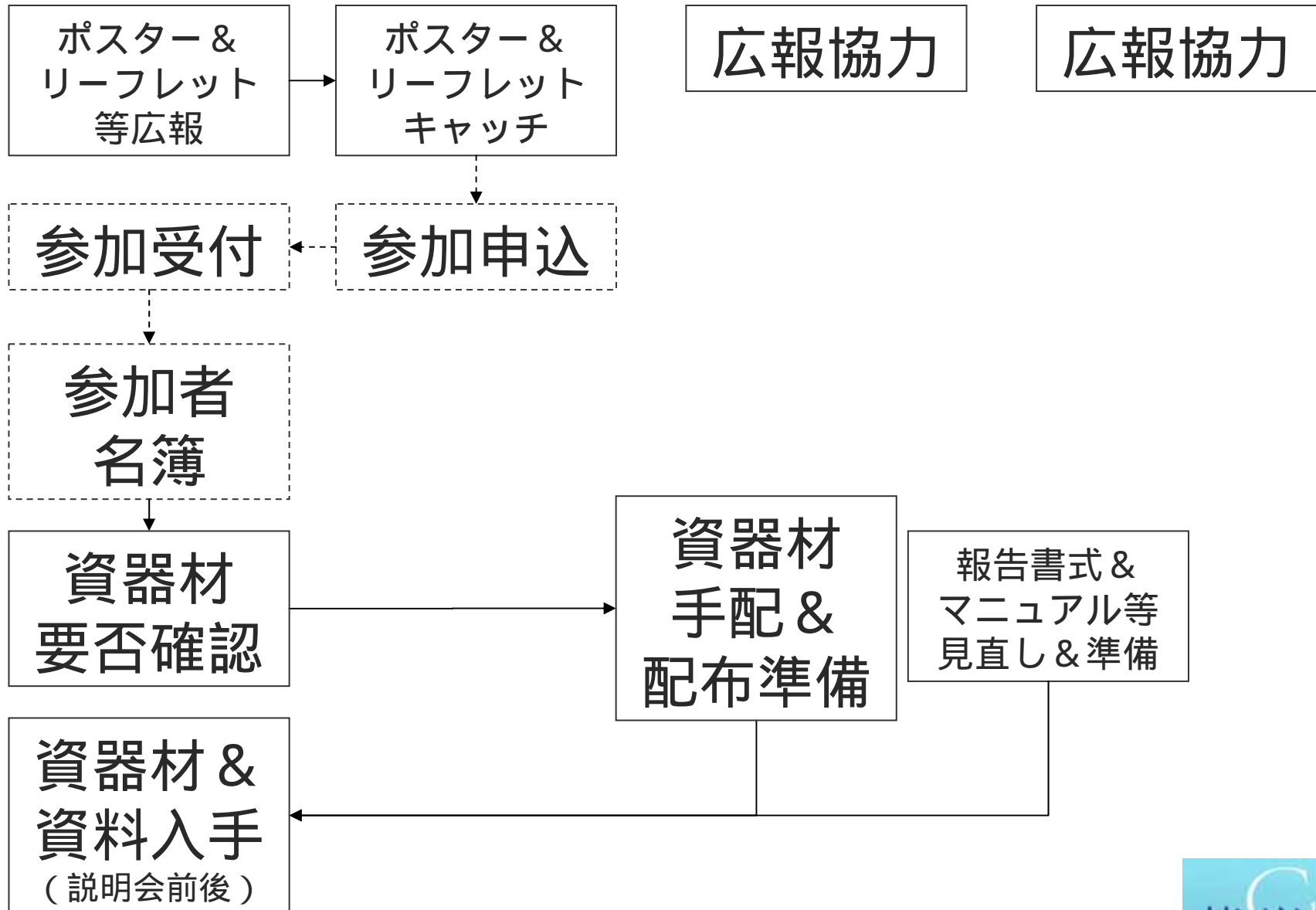
説明会 (2006.9.30(土))

「クリーンエイド」ダイジェスト

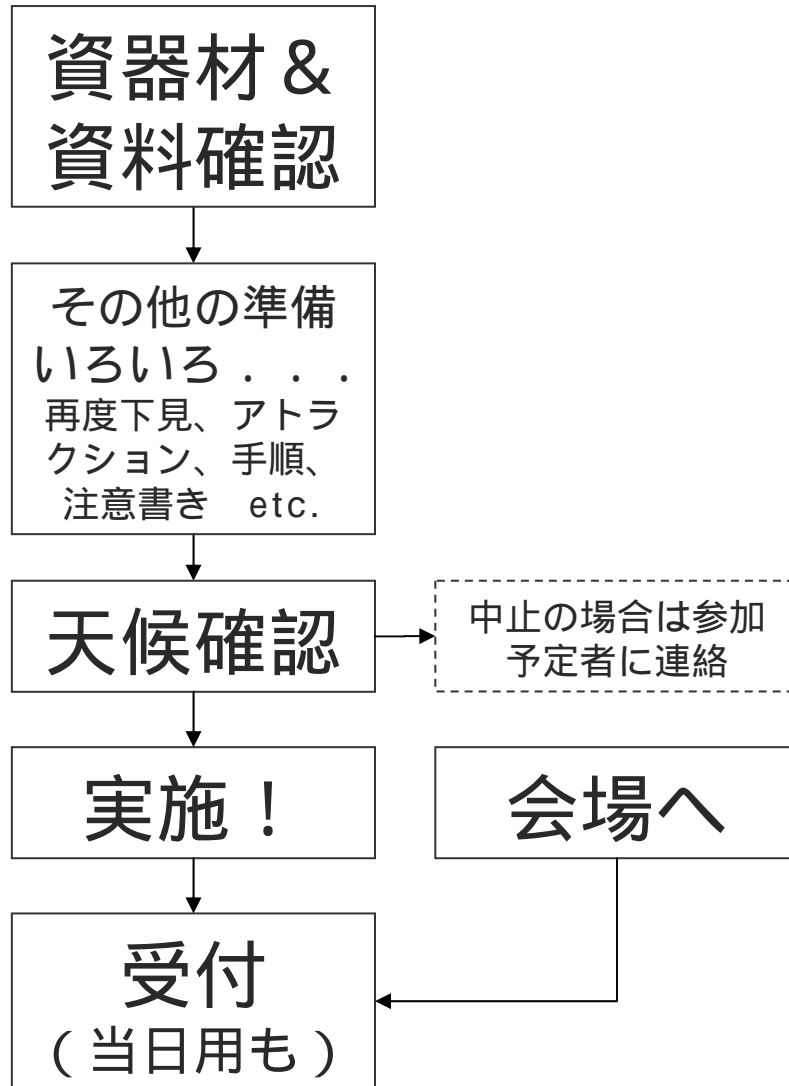
キャプテン | 参加者 | 事務局 | 自治体等



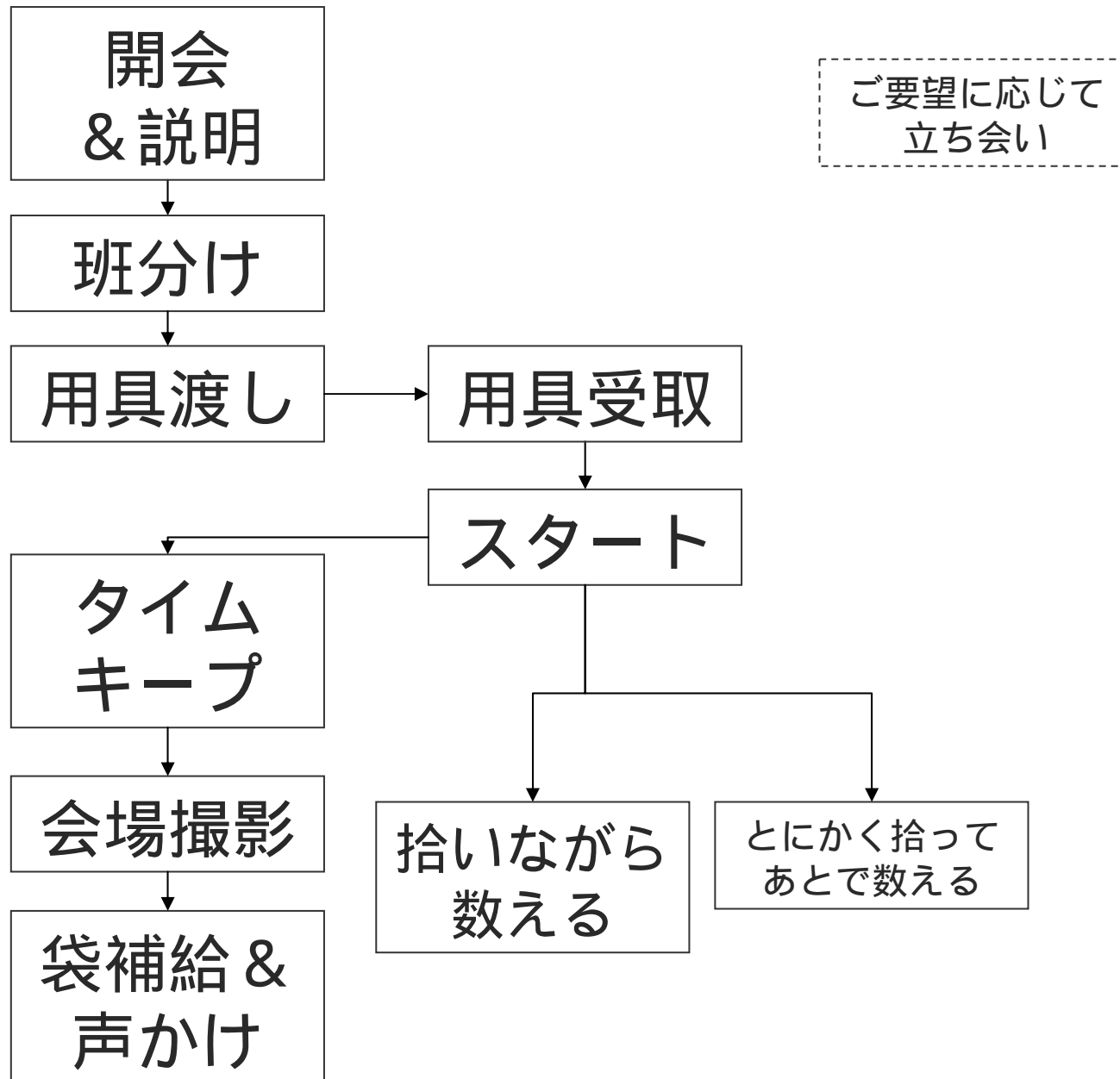
キャプテン | 参加者 | 事務局 | 自治体等



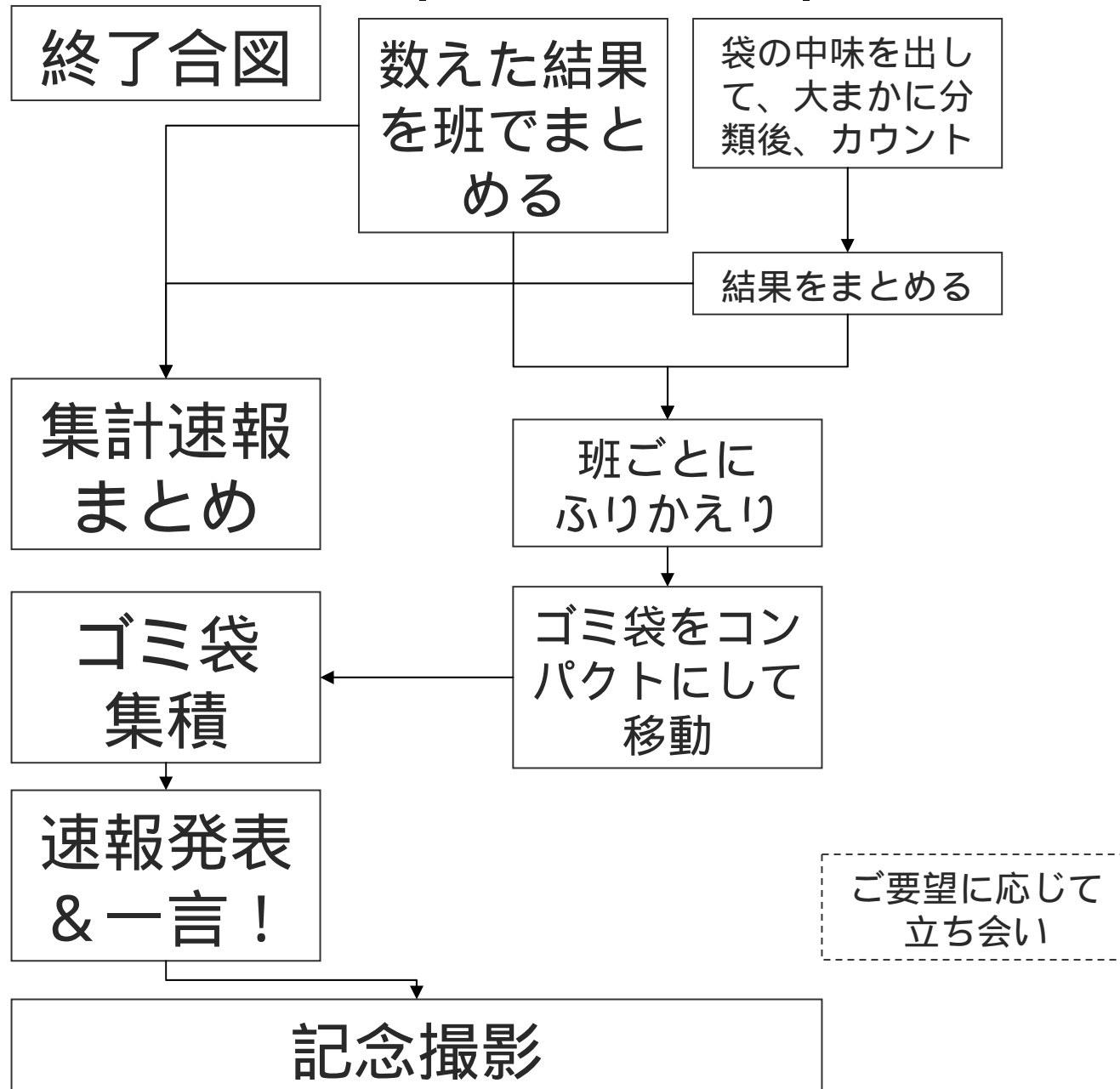
キャプテン | 参加者 | 事務局



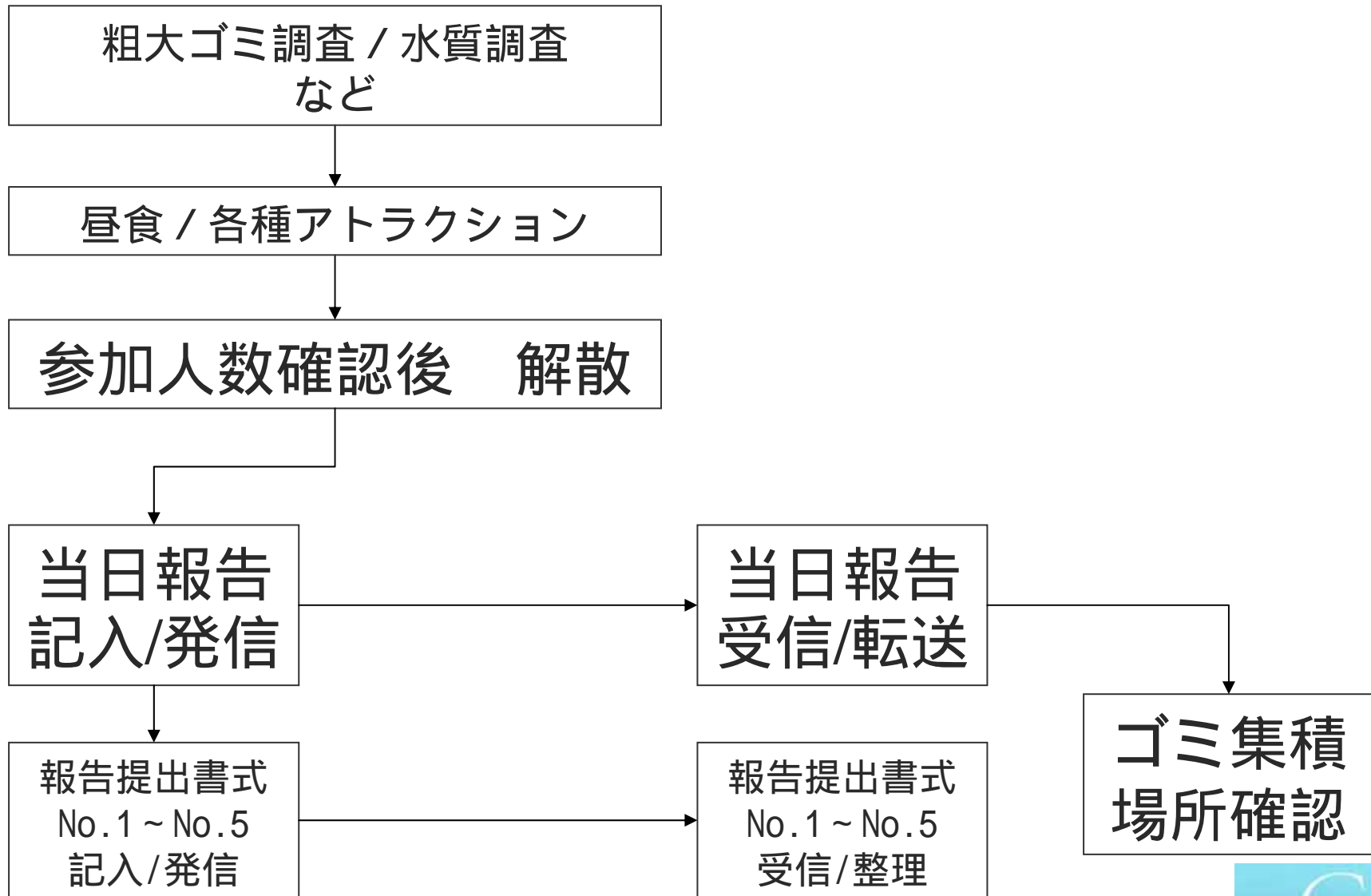
キャプテン | 参加者 | 事務局



キャプテン | 参加者 | 事務局



キャプテン | 参加者 | 事務局 | 自治体等



ゴミを拾う、調べる(クリーンエイド！)

場所



荒川下流(ゴミが拾いやすい安全な場所)で、できるだけ水際



用意するもの

ゴミ袋(3種類)、調査カード、筆記具、ゴミ拾いしやすい服装・靴、軍手、カメラ、下敷き(クリップボード) など

方法例

1. ゴミが落ちていそうな場所を事前に調べます。
2. できるだけ、水際(干潟)やヨシ原のゴミを集中的に拾うようにします。
3. 引き潮、満ち潮の具合を潮時表で調べて、実施する日時を決めます。
4. 開催当日は、さまざまな危険(増水、危険動植物、危険ゴミなど)に注意して、ムリせず、できる範囲でゴミ拾いをします。
5. チーム分けして拾いながら、調査カードに記入します。 
6. ゴミの種類(袋の色)によって、資源ゴミ、可燃ゴミ、不燃ゴミに大きく分けて、単にゴミとして処理するだけではなく、分ければ資源として再利用できることを念頭に拾うようにします。 
7. 水際(干潟)やヨシ原のゴミを取り除くことにより、荒川が本来の姿に戻ることを強調して伝えてください。
8. ゴミ袋の回収は、会場のある自治体(またはホットライン)に予め頼んでおくようにします。

あると便利なもの(例)

長靴、胴長

ホウキ、チリトリ、スコップ

湿ったゴミもOKの掃除機

マジックハンド？

「浮くっちゃボトル」



参加予定の把握と保険[1-5.]

- ・参加予定人数が把握できる場合は、確認しておき、用具類に不足がないか、チェック。
- ・日頃の活動を通じて、名簿データを蓄積しておいて、クリーンエイドへの参加が予想されるメンバーについて、ある程度固定的な名簿を作って備えておくと、行事保険をかけやすい。
- ・固定メンバーの名簿とは別に当日受付用の名簿を用意し、きちんと必要事項(氏名・住所)を記入してもらうようにする。事故発生時には補償対象となる。(ただし、当日受付参加者については、会場までの往復時の事故補償はなし)
- ・行事保険は、ボランティアセンターなどでの手続き上、1週間前を目安にかけておくのがベター。(参加予定者の名簿が必要) 当日にならないと具体的な参加者数がわからない場合は、人数を多めにしておくといい。

東京都社会福祉協議会がすすめている各種保険(抜粋)

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/info/insurance.html>

ボランティア保険	ボランティア活動中の、ボランティア自身のけがに対する補償及びボランティアが賠償責任を負った時の補償。
行事保険	福祉活動・ボランティア活動・市民活動の一環として行う行事の参加者のけがに対する補償及び主催者が賠償責任を負った時の補償。
個人情報漏えい保険	社会福祉法人等が個人情報漏えい事故により法律上の賠償責任を負った時の補償。見舞金費用・謝罪広告掲載費用など初期対応に必要な各種費用の支払いがセットになった保険。

安全上の注意は入念に

危ないゴミもある

ゴミを捨てるだけでなく、調べ
ることに意義

拾いきれなくてもOK

調べ方には大きく2通り

細かく調べると何かがわかる
(社会の縮図?)

分別がしくにいゴミは社会
勉強になる?

ゴミを捨てるのも、拾うのも
人 今あるものを何とか
する

ゴミは本来、限りなく「再資
源化」が可能 ゴミになり
にくくする発想や設計

「今あるゴミ」「今後抑えるゴミ」それぞれ
待ったなし、といったことをふりかえりで

「どうすれば少なくなる？」を皆で考える

記念撮影の他、「トピックス的な写真」
を！ [2-12.]

ゴミが片付いたかどうかなど、再び会場へ
(下見の逆)

報告提出書式をご確認
ください

No.0: 当日!

No.1 ~ No.5:

1週間以内